



Press release

1/3

Apr. 19
2017

and factory が 今後の IoT 社会を変えるものづくりコンテスト 「第 8 回国際イノベーションコンテスト (iCAN'17)」の審査員 として参加

～MEMS デバイスを用いたアプリケーションの革新的なアイデアを産学連携により
社会実装まで支援するエコシステムを構築～

and factory 株式会社(本社：東京都目黒区、代表取締役 CEO：小原崇幹 以下「and factory」)は、MEMS パークコンソーシアムと東北大学マイクロシステム融合研究開発センター主催の「第8回国際イノベーションコンテスト iCAN'17国内大会」(以下「iCAN'17」)の日本予選会の審査員として、2017年4月16日(日)に仙台市地下鉄東西線国際センター駅内『青葉の風テラス』で開催された iCAN'17 へ参加しました。



MEMS デバイスを用いたアプリケーションのアイデアや完成度、実用性を競う iCAN'17 の世界大会出場チームの選出から and factory が審査員として参加することにより、これまで世の中に出ていなかった優れた製品化前の要素技術に早い段階から光を当て、実際の製品化まで支援し、産学連携により社会実装まで支援するエコシステムを構築することを目的としています。

具体的な支援内容として、宿泊しながら IoT 体験ができる日本初のスマートホテル「&AND HOSTEL」でのプロトタイプ展示、活用を通じて、ユーザーからの定量 / 定性データをフィードバックし、製品改善、開発支援を行います。また、プロトタイプから製品化にあたって必要な製品開発プログラムの提供や、開発必要資金の出資、EC サイトや店舗など販売チャネルへの営業支援も行うなど、要素技術やアイデアのプロトタイプ化から、実際の製品化、販売支援まで一貫通貫で行っていく予定です。

当日会場の様子



本件に関するお問い合わせ先





Press release

2/3

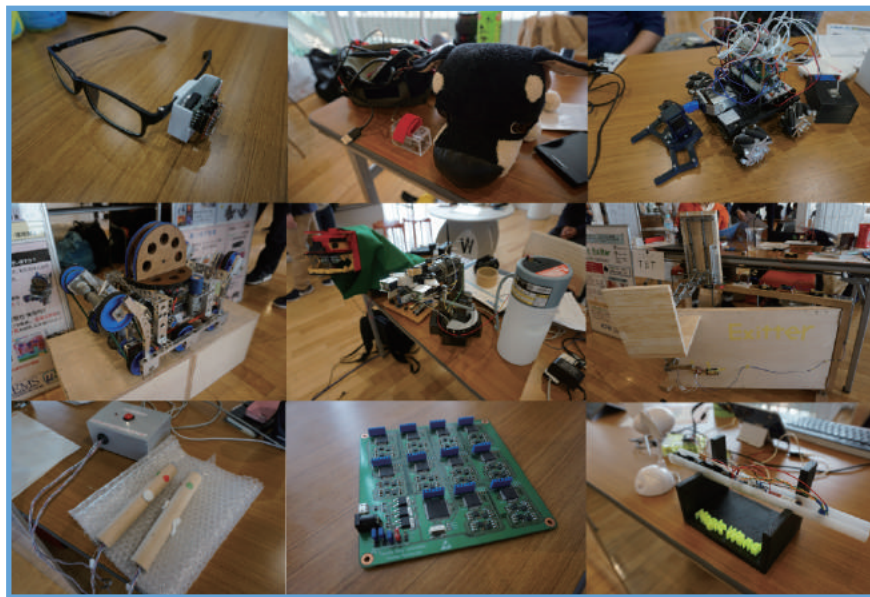
Apr.19
2017

優勝は東北大学の世界初のリハビリに特化したハイテクけん玉 (Super kendama brothers)。加速度センサの測定結果をもとに動作の点数化を行い、アダプタを用いて難易度を調節することが出来、楽しく効果的なりハビリを提供するデバイスです。けん玉は日本の伝統的な玩具ですが、現在世界的に大流行しており、欧米を中心に新たな若者のストリートカルチャーとして注目を浴び、近年日本の若者の間に逆輸入されています。外国の子供たちにも広がりを見せ、いまでは外国人のけん玉プレイ動画をインターネット上で見かけることも多くなってきました。クールジャパンの一つとしても注目されているけん玉を使い、通常苦痛が伴うと言われるリハビリをシンプルな動作で楽しく効果的なりハビリにするアイデアと目のつけどころは今後の商用化も期待出来ると審査員の声を集めました。優勝した東北大学は 2017 年 11 月に中国、北京で開催される世界大会へ出場し、世界各国・地域で予選を勝ち抜いたチームと成果を競い合います。

優勝したハイテクけん玉

<h4>3サイズのアダプタ</h4>  <p>レベルに応じて皿のサイズを変更できる</p> <p>▶ 難易度調節</p>	<h4>加速度による点数評価</h4> <p>加速度測定結果</p>  <p>球が入らないときでも点数で上速度を把握</p> <p>▶ モチベーションの維持</p>	<h4>評価</h4> <p>躍度：7/10点 手ぶれ：8/10点 総合：15/20点</p> <p>※点数化のイメージ</p>
---	--	--

コンテスト出場製品 (一部抜粋)



and factory は、スマートフォン事業を軸とし、日常の中にちょっとした &(+) を届けられるような Factory となることを掲げ、これまで 100 以上もの様々なサービスアプリケーションを提供してきました。そして、2016 年 8 月に新規事業として、福岡に最先端の IoT デバイスを客室に組み込んだ日本初のスマートホテル「&AND HOSTEL」をプロデュースし、2017 年 4 月に浅草北エリアにて 2 号店となる「&AND HOSTEL ASAKUSA NORTH」を新たにオープンしました。andfactory では、IoT デバイスのマーケティング場所というだけではなく、今回のエコシステム構築のような優れた IoT 製品を生み出すための必要機能を提供し、日本の IoT 普及を推進してまいります。

※「&AND HOSTEL」は and factory の登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先



Press release

3/3

Apr. 19
2017

iCAN'17 概要

「MEMS デバイス」を用いたアプリケーションを提案し、試作した成果を競う学生向け国際コンテストです。対象は高校生、高専生、専門学校生、大学生、大学院生で構成された 2～4 名のチームでアイデア、ものづくり、そして「挑戦する心」を競い、国内大会ではこれまで 19 校のべ 79 チーム(複合チーム含む)が参加し、iCAN'16 では 11 校 13 チームが出場しました。世界大会は 2017 年 11 月に中国、北京で開催され、世界各国・地域で予選を勝ち抜いたチームが成果を競います。

スケジュール

国内予選：2017 年 4 月 16 日(日)

日本予選会開催(試作の成果を発表)

世界大会：2017 年 11 月 24 日(金)～26 日(日)

中国、北京にてチーム毎に発表を行います。審査の結果、上位入賞チームが決まります。

MEMS とは?

「MEMS (Micro Electro Mechanical Systems)」は、半導体微細加工技術を応用して作られるセンサなどの小さな部品です。例えばスマートフォンには、加速度センサ、圧力センサ、電子コンパス、マイクなどの MEMS デバイスが搭載されていて、それぞれ、傾きなどの動き、高度差、方角、音を捉えます。ヒトの動きや意思を MEMS が捉えてスマホのアプリに伝えます。今後、IoT 社会の構築により、MEMS を応用したアプリケーションの拡大が期待されています。

MEMS パークコンソーシアムとは?

産学官の連携により、国内外の研究開発支援組織とのネットワークを構築し、MEMS を中心としたマイクロデバイス分野の新しい技術を用いた市場の開拓に取り組むことで、新たな産業を創出していくことを目的とする任意団体です。活動の目的に賛同する団体及び個人で構成されます。

東北大学マイクロシステム融合研究開発センター(μSIC)とは?

東北大学における MEMS と LSI との融合による高度なマイクロシステムの研究開発を行う拠点です。産学連携によりマイクロシステム融合技術の実用化を推進し半導体分野における我が国の競争力強化に寄与するとともに、情報・通信、製造、医療等の多様な分野におけるイノベーション創出を目指しています。

※ μSIC(ミュージック) : Miro System Integration Center の略称

HP : <http://www.mu-sic.tohoku.ac.jp>

本件に関するお問い合わせ先